1　国語

学校番号	１１７

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　国語総合」（大修館書店）						
副教材等	「改訂増補版　最新国語便覧」（浜島書店）、「新版　パーフェクト常用漢字」（第一学習社）、「古典文法クリアノート」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書の内容について時間をかけてじっくりと学習していく。その中で、受身ではなく自発的に表現や発言することが望ましい。
・漢字や古文単語については随時小テストを実施するので予習を心掛け、できなかった部分に関しては必ず復習をすること。

2　学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育む。また、副教材を用いて基本的な漢字や語句の意味、古文単語や古典文法についての学力を身につけさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて的確に聞き取り、話し合いをして自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化や言葉の特徴、漢字について正しく理解し、知識を身につけている。
評価方法	・学習に対しての取り組みや態度 ・ノート、プリントなど	・学習における発言内容や態度 ・ノート、プリントなど	・作成した文章 ・ノート、プリント、小テスト、定期考査など	・学習における発言内容や態度 ・ノート、プリント、定期考査など	・学習における発言内容 ・ノート、プリント、小テスト、定期考査など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	随想	『ぐうぜん、うたがう、読書のススメ』 川上未映子	○		◎		○	a：筆者のものの見方や感じ方に関心を持ち、読書について考えている。 c：書物との偶然の出会いに対し、自分の感想を書くことができる。 e：語句の意味や漢字、表現技法を正しく理解している。	a：行動の観察 c：ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e：定期考査及び小テスト
	小説	『ゴール』 三崎亜記	○			◎	○	a：登場人物や作品内容に興味を持ち、小説内の隠喩について考えている。 d：小説内の隠喩について、自分なりの根拠をもちつつ読むことが出来る。 e：語句の意味や漢字、表現技法を正しく理解している。	a：行動の観察 d：ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e：定期考査及び小テスト
	説話	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」	○			◎	○	a：説話という分野に興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 d：登場人物の境遇や出来事、心情を読み取っている。 e：語句の意味、歴史的仮名遣いや品詞について理解している。	a：行動の観察 d：ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e：定期考査及び小テスト
	説話	『今昔物語集』 「検非違使忠明」	○			◎	○	a：説話という分野に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d：登場人物の境遇と出来事を読み取っている。 e：語句の意味や用言について理解している。	a：行動の観察 d：ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e：定期考査及び小テスト
	物語	『竹取物語』 「かぐや姫の生い立ち」	○			◎	○	a：物語という分野に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d：登場人物の境遇と出来事を読み取っている。 e：語句の意味や助動詞について理解している。	a：行動の観察 d：ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e：定期考査及び小テスト

	評論	『水の東西』 山崎正和	○		◎	○	○	a：筆者のものの見方や感じ方に関心を持ち、東西の水の違いについて考えている。 c：日本と西洋の水の違いや、考え方の違いの対比をつかみ、表で表現することができる。 d：日本と西洋の水の違いや、考え方の違いの対比をつかみながら読むことができる。 e：語句の意味や漢字、表現技法を正しく理解している。	a:行動の観察 c:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト
	小説	『青が消える』 村上春樹	○	◎		○	○	a：登場人物や作品の内容に興味を持ち、登場人物の行動が孕む寓意性について考えている。 b：「青」や、登場人物の行動が孕む寓意性について考え、自分なりの意見や根拠を説明することができる。また、他の生徒の意見や根拠を聞き取り理解することができる。 d:「青」や、登場人物の行動が孕む寓意性について考え、根拠を明確にしながら読むことができる。 e：語句の意味や漢字、表現技法を正しく理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察、ノートやプリント等の記述の確認及び定期考査 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト
二学期	評論	『言語は色眼鏡である』 野元菊雄	○		◎	○	○	a：筆者のものの見方や感じ方に関心を持ち、言語による外界の捉え方の違いについて考えている。 c：言語による外界の捉え方の違いについて、本文以外の例を自分でまとめることができる。 d：豊富な例から、筆者が何を言いたいのか読み取ることができる。 e：語句の意味や漢字、表現技法を正しく理解している。	a:行動の観察 c:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト

	小説	『清兵衛と瓢箪』 志賀直哉	○		◎	○	○	a:登場人物や作品の内容に興味を持ち、「瓢箪」が持つ意味について考えている。 c:自分にとっての「瓢箪」は何なのか、作品上で「瓢箪」が持つ意味について理解し、書くことが出来る。 d:作品上で「瓢箪」が持つ意味について理解し、読むことが出来る。 e: 語句の意味や漢字、表現技法を正しく理解している。筆者について文学史的な知識を持っている。	a:行動の観察 c:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト
	歌物語	『伊勢物語』 「芥川」	○			◎	○	a: 歌物語という分野に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d: 登場人物の境遇、出来事や心情を読み取っている。 e: 語句の意味や和歌について理解している。	a:行動の観察 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト
	歌物語	『伊勢物語』 「東下り」	○			◎	○	a: 歌物語という分野に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d: 登場人物の境遇、出来事や心情を読み取っている。 e: 語句の意味や和歌について理解している。	a:行動の観察 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト
	日記	『土佐日記』 「門出」	○			◎	○	a: 日記という分野に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d: 語り手の境遇、出来事や心情を読み取っている。 e: 語句の意味や助動詞、和歌について理解している。	a:行動の観察 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト

三学期	評論	『命は誰のものなのか』 柳澤桂子	○	◎			○	a：筆者のものの見方や感じ方に関心を持ち、筆者の主張に対して自分の意見を持っている。 b：筆者の意見に対する自分の意見をわかりやすく相手に話すことができる。相手の意見を聞き、理解することができる。 e：語句の意味や漢字、表現技法を正しく理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察、ノートやプリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト
	小説	『なめとこ山の熊』 宮沢賢治	○			◎	○	a：登場人物や作品の内容に興味を持ち、登場人物の心情について考えている。 d：登場人物の心情について、行動や情景描写に注目し読み取ることができる。 e：語句の意味や漢字、表現技法を正しく理解している。筆者について文学史的な知識を持っている。	a:行動の観察 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト
	故事成語	『戦国策』 「借虎威」	○			◎	○	a：故事成語という分野に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d：語り手の境遇、出来事を読み取っている。 e：語句の意味や返り点について理解している。	a:行動の観察 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト
	漢詩	『漢詩三百首』 「春望」	○			◎	○	a：漢詩という分野に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 d：登場人物の境遇や心情を読み取っている。 e：語句の意味や返り点について理解している。	a:行動の観察 d:ノート、プリント等の記述の確認及び定期考査 e:定期考査及び小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。